

第14回井上宇市記念賞井上宇市賞および同アジア国際賞

(目的) 空気調和設備および環境工学分野に関する開発、設計、施工、研究、教育に特に貢献のあった個人を表彰し、本分野の将来を引き続き担う人材を育成することを目的とする。加えて、アジア地域で活躍する技術者、研究者を表彰し、アジアにおける本分野のさらなる発展を図ることを目的とする。

1. 井上宇市記念賞井上宇市賞 (2名)

1) 田辺 新一 (早稲田大学創造理工学部建築学科 教授)

◆受賞業績：省エネルギー・快適性・健康性の向上に関する研究及び学会運営への貢献

◆推薦理由：田辺新一君は長年にわたり、建築環境工学・空調設備の分野での教育・研究に尽力し、省エネルギーをはじめ人体温熱環境に関する研究の草分けとして活躍され、室内空気質や室内温熱環境などに関する先駆的な研究を長く幅広く推進している。近年では ZEB (ネットゼロエネルギービル)、ウェルネスに関して本会が基盤となって作成した学術的な基盤を政策に展開するなど、本学会を中心とした建築設備技術者のリーダーとして社会的にも大きな貢献がなされている。

さらに、本会の理事・副会長・会長を務められた上に日本建築学会会長も歴任され、加えて ASHRAE、REHVA 他国際的な学会との関係構築にも尽力した。

以上の様に、これまで建築環境工学・空調設備分野において多大な貢献をされ、学会の運営と発展に大きく貢献した。よって、ここに井上宇市賞を授与する。

2) 加藤 美好 (大成建設株式会社 常務執行役員)

◆受賞業績：空気調和設備および環境工学分野における技術開発・計画・設計

◆推薦理由：加藤美好君は、総合請負業の立場から長年空気調和設備の設計・施工・技術開発に従事してきた。特に製薬工場のクリーンルーム技術の開発に関する実績が豊富である。その上、都市型 ZEB の普及を目指した ZEB 実証棟、知的生産性、サステナビリティの向上を目指した既存研究センターのリニューアル設計に関わり、産業、民生部門の施設の重要な課題解決に取り組み、会誌、著書、講演などで成果を発表し、複数の学会賞をはじめとして社会から高い評価を得ている。

社会貢献として政府委員会委員を歴任した上、本会理事・委員を長年務め、学会の円滑な運営と発展に大いに貢献している。よって、ここに井上宇市賞を授与する。

2. 井上宇市記念賞アジア国際賞（1名）

1) 牛 建磊／Jianlei Niu (Professor, Hong Kong Polytechnic University)

◆受賞業績：室内環境及び建物省エネルギーに関する顕著な業績

◆推薦理由：Jian-lei Niu 教授は建築環境・エネルギーの広範な分野で活躍しており、室内空気質、温熱快適性、蓄熱システムなどを専門としている。香港理工大学では20人を越える学位学生の指導を行い教育に尽力されている。

現在、国の研究プロジェクトのリーダーを務められており、プロジェクト計画段階における局所的な快適ハブのシミュレーションに貢献している。

また、国際的な学術ジャーナルである Energy and Buildings の編集長を勤め、ASHRAE、ISIAQ、IBPSA の国際的な学会からフェロウシップを受賞しており、アジアの空調分野において最も活動的な研究者として多大な貢献を行なっている。

現在アジアにおける最も活動的な研究者の一人であり、本会との関係としても大変重要である。よって、ここにアジア国際賞を授与する。